

# 頭山満・未完の昭和史

## 日中不戦の信念と日中和平工作

石瀧豊美 著

### 戦後78年、日本の近代史を塗り替える

史料にもとづき、歴史の闇に葬られてきた玄洋社・頭山満と  
その仲間たちの日中和平工作の実相を初めて明らかにする渾身の書

歴史家によって中国大陸侵略者のレッテルを張られた頭山満は、実は日中和平工作の実行者だった。南京中山陵の孫文の柩を納める式典に、頭山は蒋介石から国賓として招かれた。党派を超えて、戦時中の中国がただ一人信頼する日本人、それが孫文を助け、中国革命を支援した頭山満だった――



孫文の柩を乗せた輿を引く綱に手を添えて、石段をあげる犬養毅と頭山満。その後ろに萱野長知、古島一雄、孫文の革命運動を支援した日本人十数名が続いた

半世紀の研究成果にもとづく“最後の昭和史”

#### ■目次

はじめに

序章 孫文との強い絆

第一章 頭山満のパラドックス

第二章 頭山満と玄洋社、いまだ知られていない真実

第三章 頭山満と玄洋社

第四章 日中不戦の信念と日中和平工作

第五章 阿片王・里見甫の生涯をめぐるメモ

終章 頭山満の人物像 大賢と大愚と

おわりに／人名索引

#### 【著者紹介】石瀧豊美(いしたき・とよみ)

1949年、福岡市生まれ。福岡地方史研究会会長・イシタキ人権学研究所所長(日本近代史)明治維新史学会・軍事史学会に所属。福岡県地方史研究連絡協議会(略称・福史連)副会長。第37回(平成24年度)福岡市文化賞受賞。

著書に『玄洋社発掘—もうひとつの自由民権』(西日本新聞社, 1981年), 『増補版 玄洋社発掘—もうひとつの自由民権』(西日本新聞社, 1997年), 『近代福岡の歴史と人物—異・偉人伝』(イシタキ人権学研究所, 2009年), 『玄洋社・封印された実像』(海鳥社, 2010年), 『筑前竹槍—揆研究ノート』(花乱社, 2012年), 共著に有馬学ほか『福岡県の近現代』(山川出版社, 2021年), 福岡地方史研究会編『福岡遊学 テーマ別福岡市近郊歴史ガイド』(海鳥社, 2022年)他多数

A 5判/上製/380ページ/定価(本体3800円+税)  
ISBN978-4-910038-78-0 C0021

花乱社	ご担当	日付	注文	ISBN978-4-910038-78-0 C0021
【貴店番線印】				<h2>頭山満・未完の昭和史</h2> <p>日中不戦の信念と日中和平工作</p>
	様		冊	
図書出版花乱社 福岡市中央区天神5-5-8-5D TEL 092-781-7550				